



## 2021年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年11月10日

上場会社名 ランドビジネス

上場取引所 東

コード番号 8944 URL <https://www.lbca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森作 哲朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼管理部部長 (氏名) 加藤 毅 TEL 03-3595-1371

定時株主総会開催予定日 2021年12月21日 配当支払開始予定日 2021年12月22日

有価証券報告書提出予定日 2021年12月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期の業績(2020年10月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,588	1.0	767	6.2	238	26.8	315	24.3
2020年9月期	4,544	2.1	818	21.5	326	37.6	416	2.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	15.88		1.7	0.4	16.7
2020年9月期	18.87		2.3	0.6	18.0

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 百万円 2020年9月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	53,594	18,249	34.1	919.53
2020年9月期	54,934	18,013	32.8	899.49

(参考) 自己資本 2021年9月期 18,251百万円 2020年9月期 18,013百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	971	128	1,869	9,443
2020年9月期	935	772	357	10,469

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期		0.00		6.00	6.00	120	31.8	0.7
2021年9月期		0.00		6.00	6.00	119	37.8	0.7
2022年9月期(予想)		0.00		6.00	6.00		2,400.0	

### 3. 2022年9月期の業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,570	0.4	660	14.0	210	12.1	5	98.4	0.25

(注)2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)等を適用することとしたため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期	26,780,800 株	2020年9月期	26,780,800 株
期末自己株式数	2021年9月期	6,934,685 株	2020年9月期	6,754,185 株
期中平均株式数	2021年9月期	19,885,312 株	2020年9月期	22,101,236 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(賃貸等不動産関係) .....	10
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2020年10月1日～2021年9月30日)における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況が続いており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当不動産業界におきましては、賃貸マンション(東京23区)の賃料はほぼ横ばいですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、賃貸オフィスビル(都心5区)の募集賃料が下落、空室率が上昇しており、今後の影響を注視する必要があります。

このような事業環境下、当社はマーケットの動向を見極め、的確なリーシング戦略により、賃貸オフィスビル・レジデンスの高稼働率を維持し、安定収益を確保しながら、既存物件のリビルド工事などを順次実施し、資産価値の向上・収益力の強化に取り組みました。

以上の結果、当事業年度の経営成績は、売上高4,588百万円(前期比1.0%増)、営業利益767百万円(前期比6.2%減)、経常利益238百万円(前期比26.8%減)、当期純利益315百万円(前期比24.3%減)となりました。

なお、当社は賃貸事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の業績の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末におきましては、総資産は、前事業年度末の54,934百万円から53,594百万円と1,340百万円減少しました。これは主に、建設仮勘定が190百万円、関係会社株式が200百万円増加したものの、現金及び預金が944百万円、建物が156百万円、土地が738百万円減少したことによるものであります。

総負債は、前事業年度末の36,921百万円から35,345百万円と1,575百万円減少しました。これは主に、短期借入金400百万円増加したものの、長期借入金(1年内返済予定を含む)が1,856百万円、社債が230百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末の18,013百万円から18,249百万円と235百万円増加しました。これは、自己株式の増加61百万円、前事業年度末剰余金の配当金120百万円があったものの、繰延ヘッジ損失の減少101百万円、当期純利益315百万円があったことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローが971百万円の収入超過、投資活動によるキャッシュ・フローが128百万円の支出超過、財務活動によるキャッシュ・フローが1,869百万円の支出超過となったことにより、前事業年度末より1,026百万円減少し、9,443百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、971百万円の収入超過(前期は935百万円の収入超過)となりました。これは主に、固定資産売却損益(△は益)△456百万円があったものの、税引前当期純利益435百万円、減価償却費913百万円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、128百万円の支出超過(前期は772百万円の支出超過)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入1,200百万円があったものの、定期預金の増加額82百万円、有形固定資産の取得による支出1,016百万円、関係会社株式の取得による支出200百万円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,869百万円の支出超過(前期は357百万円の支出超過)となりました。これは主に、長期借入れによる収入4,007百万円があったものの、長期借入金の返済による支出5,864百万円、社債の償還による支出230百万円、自己株式の取得による支出61百万円及び配当金の支払額119百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率 (%)	35.2	34.5	32.8	34.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	17.4	33.1	13.2	10.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	39.2	19.1	35.8	32.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.8	3.8	2.1	2.2

(注) 1. 指標の算出方法

自己資本比率 : 自己資本/総資産、時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式を除く)により算出しております。

3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2019年9月期の期首から適用しており、2018年9月期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、依然として不透明な状況が続くものと思われれます。

収益不動産マーケットにおいては、価格水準が高く利回りも低いいため適正な投資案件不足が続いており、しばらくはこの状況が継続するものと思われれます。

このような事業環境下、保有賃貸物件のリーシング活動に注力し、安定した賃料収入を確保するとともに、取得済み物件のリビルド工事を進め保有資産の付加価値の向上も図ってまいります。また、慎重にマーケットの変化を注視しながら当社の基準に見合う安定稼働の期待できるレジデンス・ビル等の収益物件を新たに取得し賃料収入の増強を図り、保有物件の開発も進め収益を確保してまいります。

なお、次期につきましては、大規模な改修工事に伴う空室損失及び工事費用等を見込み、業績予想に織り込んでおります。

以上により、次期の業績は、売上高4,570百万円(当期比0.4%減)、営業利益660百万円(当期比14.0%減)、経常利益210百万円(当期比12.1%減)、当期純利益5百万円(当期比98.4%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っていないため、また国内の同業他社との比較可能性に資するよう、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,504,414	9,560,197
売掛金	—	1,125
営業未収入金	35,486	21,842
商品及び製品	—	1,330
販売用不動産	5,060	5,060
未成工事支出金	3,301	1,295
原材料及び貯蔵品	1,707	6,023
前払費用	71,375	72,911
その他	15,830	67,297
貸倒引当金	△400	△400
流動資産合計	10,636,776	9,736,684
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,205,099	23,838,991
減価償却累計額	△8,045,040	△8,835,841
建物(純額)	15,160,058	15,003,149
構築物	394,482	447,014
減価償却累計額	△178,923	△194,334
構築物(純額)	215,559	252,680
機械及び装置	72,779	77,768
減価償却累計額	△68,672	△70,464
機械及び装置(純額)	4,106	7,303
車両運搬具	30,049	37,102
減価償却累計額	△20,434	△25,108
車両運搬具(純額)	9,615	11,993
工具、器具及び備品	476,569	533,511
減価償却累計額	△262,551	△300,323
工具、器具及び備品(純額)	214,017	233,187
土地	26,290,989	25,552,320
建設仮勘定	286,792	477,357
有形固定資産合計	42,181,138	41,537,992
無形固定資産		
のれん	11,346	25,482
借地権	1,057,209	1,057,209
ソフトウェア	2,143	2,039
その他	1,672	1,422
無形固定資産合計	1,072,372	1,086,154
投資その他の資産		
投資有価証券	11,500	11,500
関係会社株式	398,135	598,135
出資金	5,030	5,030
長期前払費用	230,787	183,612
敷金及び保証金	399,217	435,265
投資その他の資産合計	1,044,670	1,233,543
固定資産合計	44,298,181	43,857,691
資産合計	54,934,958	53,594,375

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	—	1,319
営業未払金	34,886	39,640
短期借入金	200,000	600,000
1年内償還予定の社債	230,618	230,618
1年内返済予定の長期借入金	2,288,226	1,135,297
未払金	134,525	154,197
未払費用	82,397	83,982
未払法人税等	29,399	104,547
前受金	346,673	382,719
預り金	78,376	91,676
賞与引当金	11,781	13,461
訴訟損失引当金	—	94,111
流動負債合計	3,436,885	2,931,571
固定負債		
社債	5,334,056	5,103,438
長期借入金	25,443,875	24,739,863
繰延税金負債	281,508	342,326
退職給付引当金	26,844	40,105
役員退職慰労引当金	193,821	203,983
受入敷金保証金	1,808,327	1,733,449
資産除去債務	66,941	67,970
その他	328,858	182,532
固定負債合計	33,484,233	32,413,668
負債合計	36,921,119	35,345,239
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,969,192	4,969,192
資本剰余金		
資本準備金	5,099,179	5,099,179
資本剰余金合計	5,099,179	5,099,179
利益剰余金		
利益準備金	5,840	5,840
その他利益剰余金		
別途積立金	1,155,000	1,155,000
繰越利益剰余金	9,379,382	9,574,908
利益剰余金合計	10,540,222	10,735,748
自己株式	△2,366,527	△2,428,306
株主資本合計	18,242,066	18,375,813
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△228,228	△126,677
評価・換算差額等合計	△228,228	△126,677
純資産合計	18,013,838	18,249,135
負債純資産合計	54,934,958	53,594,375

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高		
賃貸事業収益	4,479,807	4,444,856
投資その他事業収益	64,778	143,476
売上高合計	4,544,586	4,588,332
売上原価		
賃貸事業原価	2,687,549	2,678,974
投資その他事業原価	52,937	104,171
売上原価合計	2,740,487	2,783,146
売上総利益	1,804,098	1,805,186
販売費及び一般管理費		
役員報酬	140,214	169,752
給料及び手当	244,502	295,621
賞与引当金繰入額	11,781	13,461
役員退職慰労引当金繰入額	10,277	13,591
地代家賃	99,790	101,895
租税公課	173,264	159,418
減価償却費	26,791	32,369
貸倒引当金繰入額	△1,128	—
その他	280,462	252,016
販売費及び一般管理費合計	985,955	1,038,126
営業利益	818,143	767,059
営業外収益		
受取利息	122	102
有価証券利息	225	225
受取配当金	10,280	307
業務受託料	3,600	3,600
補助金収入	—	1,100
雑収入	461	703
営業外収益合計	14,689	6,037
営業外費用		
支払利息	397,137	390,293
社債利息	49,895	47,942
資金調達費用	25,149	65,648
雑損失	34,404	30,386
営業外費用合計	506,586	534,270
経常利益	326,246	238,826
特別利益		
固定資産売却益	—	456,589
特別利益合計	—	456,589
特別損失		
固定資産除却損	5,223	76,695
借入金繰上返済精算金	—	89,206
訴訟損失引当金繰入額	—	94,111
特別損失合計	5,223	260,012
税引前当期純利益	321,022	435,403
法人税、住民税及び事業税	51,814	94,496
法人税等調整額	△147,744	25,221
法人税等合計	△95,929	119,718
当期純利益	416,952	315,685

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	4,969,192	5,099,179	5,840	1,155,000	9,107,459	10,268,299	△922,686	19,413,984
当期変動額								
剰余金の配当					△145,029	△145,029		△145,029
当期純利益					416,952	416,952		416,952
自己株式の取得							△1,443,840	△1,443,840
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	271,922	271,922	△1,443,840	△1,171,917
当期末残高	4,969,192	5,099,179	5,840	1,155,000	9,379,382	10,540,222	△2,366,527	18,242,066

	評価・換算差額等		純資産合計
	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△386,644	△386,644	19,027,340
当期変動額			
剰余金の配当			△145,029
当期純利益			416,952
自己株式の取得			△1,443,840
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	158,416	158,416	158,416
当期変動額合計	158,416	158,416	△1,013,501
当期末残高	△228,228	△228,228	18,013,838

当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	4,969,192	5,099,179	5,840	1,155,000	9,379,382	10,540,222	△2,366,527	18,242,066
当期変動額								
剰余金の配当					△120,159	△120,159		△120,159
当期純利益					315,685	315,685		315,685
自己株式の取得							△61,779	△61,779
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	195,525	195,525	△61,779	133,746
当期末残高	4,969,192	5,099,179	5,840	1,155,000	9,574,908	10,735,748	△2,428,306	18,375,813

	評価・換算差額等		純資産合計
	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△228,228	△228,228	18,013,838
当期変動額			
剰余金の配当			△120,159
当期純利益			315,685
自己株式の取得			△61,779
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	101,550	101,550	101,550
当期変動額合計	101,550	101,550	235,296
当期末残高	△126,677	△126,677	18,249,135

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	321,022	435,403
減価償却費	894,853	913,441
のれん償却額	4,254	6,683
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,900	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,245	1,680
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	—	94,111
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,053	13,260
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△51,066	10,162
受取利息及び受取配当金	△10,628	△634
支払利息	447,033	438,235
固定資産売却損益 (△は益)	—	△456,589
固定資産除却損	5,223	76,695
借入金繰上返済精算金	—	89,206
売上債権の増減額 (△は増加)	17,551	12,519
たな卸資産の増減額 (△は増加)	297	△3,640
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,558	6,073
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,164	△12,572
その他	△59,317	△110,978
小計	1,515,304	1,513,058
利息及び配当金の受取額	10,628	634
利息の支払額	△447,752	△438,327
借入金繰上返済精算金の支払額	—	△89,206
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△142,197	△14,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	935,982	971,938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△82,000
有価証券の償還による収入	5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△771,940	△1,016,041
有形固定資産の売却による収入	—	1,200,000
無形固定資産の取得による支出	△413	△789
投資有価証券の取得による支出	△5,000	—
関係会社株式の取得による支出	—	△200,000
その他	—	△30,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△772,353	△128,830
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	400,000
長期借入れによる収入	2,919,000	4,007,900
長期借入金の返済による支出	△1,657,342	△5,864,840
社債の償還による支出	△230,618	△230,618
自己株式の取得による支出	△1,443,840	△61,779
配当金の支払額	△144,662	△119,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357,463	△1,869,324
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△193,834	△1,026,216
現金及び現金同等物の期首残高	10,663,248	10,469,414
現金及び現金同等物の期末残高	10,469,414	9,443,197

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症の当事業年度における影響は限定的であり、2022年9月期以降、経済環境は緩やかに正常化すると仮定し、固定資産の減損損失及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

（持分法損益等）

関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（賃貸等不動産関係）

当社は、東京都その他の地域において、賃貸用オフィスビル（土地を含む。）等を所有しております。

前事業年度における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は1,676,702千円（賃貸収益は売上高に、賃貸費用は売上原価に計上）であります。当事業年度における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は1,663,767千円（賃貸収益は売上高に、賃貸費用は売上原価に計上）であります。

また、当該賃貸等不動産の貸借対照表計上額、期中増減額及び時価は、次のとおりであります。

（単位：千円）

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
貸借対照表計上額		
期首残高	43,154,703	43,070,946
期中増減額	△83,757	△903,059
期末残高	43,070,946	42,167,887
期末時価	54,304,004	53,440,499

（注）1. 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

2. 期中増減額のうち、前事業年度の主な増加額は、取得（193,394千円）及び工事費（595,700千円）であり、主な減少額は減価償却（872,505千円）であります。当事業年度の主な増加額は、工事費（745,015千円）であり、主な減少額は売却（743,410千円）、除却（16,700千円）及び減価償却（887,964千円）であります。

3. 期末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額（指標等を用いて調整を行ったものを含む。）であります。

(セグメント情報)

前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

当社は貸貸事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

当社は貸貸事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	
1株当たり純資産額	899.49円	1株当たり純資産額	919.53円
1株当たり当期純利益金額	18.87円	1株当たり当期純利益金額	15.88円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益 (千円)	416,952	315,685
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	416,952	315,685
期中平均株式数 (株)	22,101,236	19,885,312
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。